

平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年2月10日

会社名 株式会社ジャパンケアサービス (JASDAQ・コード番号：7566)
 (URL <http://www.japan-care.co.jp/>)
 代表者 代表者役職 会長兼代表取締役社長
 氏名 対馬 徳昭
 問合せ先 責任者役職 取締役社長室長
 氏名 瀬戸口 信也 TEL： (03) 5907-7007

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容)
 ・法人税等の計上基準およびその他一部については、
 簡便的な方法を採用しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 (内容) 連結(新規)4社
- ④ 公認会計士又は監査法人による関与の状況 : 無

2. 平成18年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成17年4月1日～平成17年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	6,129	(—)	115	(—)	85	(—)	36	(—)
17年3月期第3四半期	—	(—)	—	(—)	—	(—)	—	(—)
(参考) 17年3月期	—		—		—		—	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年3月期第3四半期	4	41	4	40
17年3月期第3四半期	—	—	—	—
(参考) 17年3月期	—	—	—	—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。ただし、当第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため対前年同四半期の記載はしていません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期のわが国経済は、企業収益の回復による設備投資増加や個人消費も堅調に推移し、原油高による悪影響の懸念はありますが、景気は緩やかな回復傾向を示しつつあります。

介護業界におきましては高齢化の進展による社会保障給付費の増大が懸念される中、改正介護保険法の平成18年4月からの施行に向けて様々な検討が進められています。

このような状況のもと、当社グループでは改正介護保険法の平成18年4月からの施行を見据えて、中重度要介護者の確保に営業のターゲットを絞り、またヘルパーの採用方針については長時間勤務者への切替え、介護福祉士・ヘルパー1級資格取得者への移行を図り、ステーションの新設計画は取り止め制度改正への準備対応に注力いたしました。

その結果、当第3四半期における売上高につきましては、6,129百万円となりました。

経常利益につきましては、平成17年10月より連結子会社として営業を開始した中央区高齢者介護福祉サービス株式会社が運営する高齢者複合介護施設「相生の里」の開業費用等の発生により85百万円となりました。

なお、当第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較は行っていません。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
18年3月期第3四半期	7,621	3,926	51.5	475	24
17年3月期第3四半期	—	—	—	—	—
(参考)17年3月期	—	—	—	—	—

○添付資料

(要約) 四半期連結貸借対照表、(要約) 四半期連結損益計算書など

以上

[参考]

平成18年3月期の連結業績予想の修正等（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
通期	百万円 8,300	百万円 170	百万円 70

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 8円 47銭

[業績予想に関する定性的情報等]

当該業績予想につきましては、平成17年10月31日付にて発表いたしました数値を修正しております。修正内容につきましては本日発表しております「平成18年3月期（連結・単独）業績予想の修正について」をご参照ください。

なお、上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したもので、実際の業績は今後さまざまな要因によって、予想数値と異なる場合があります。